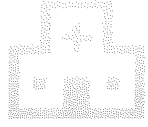


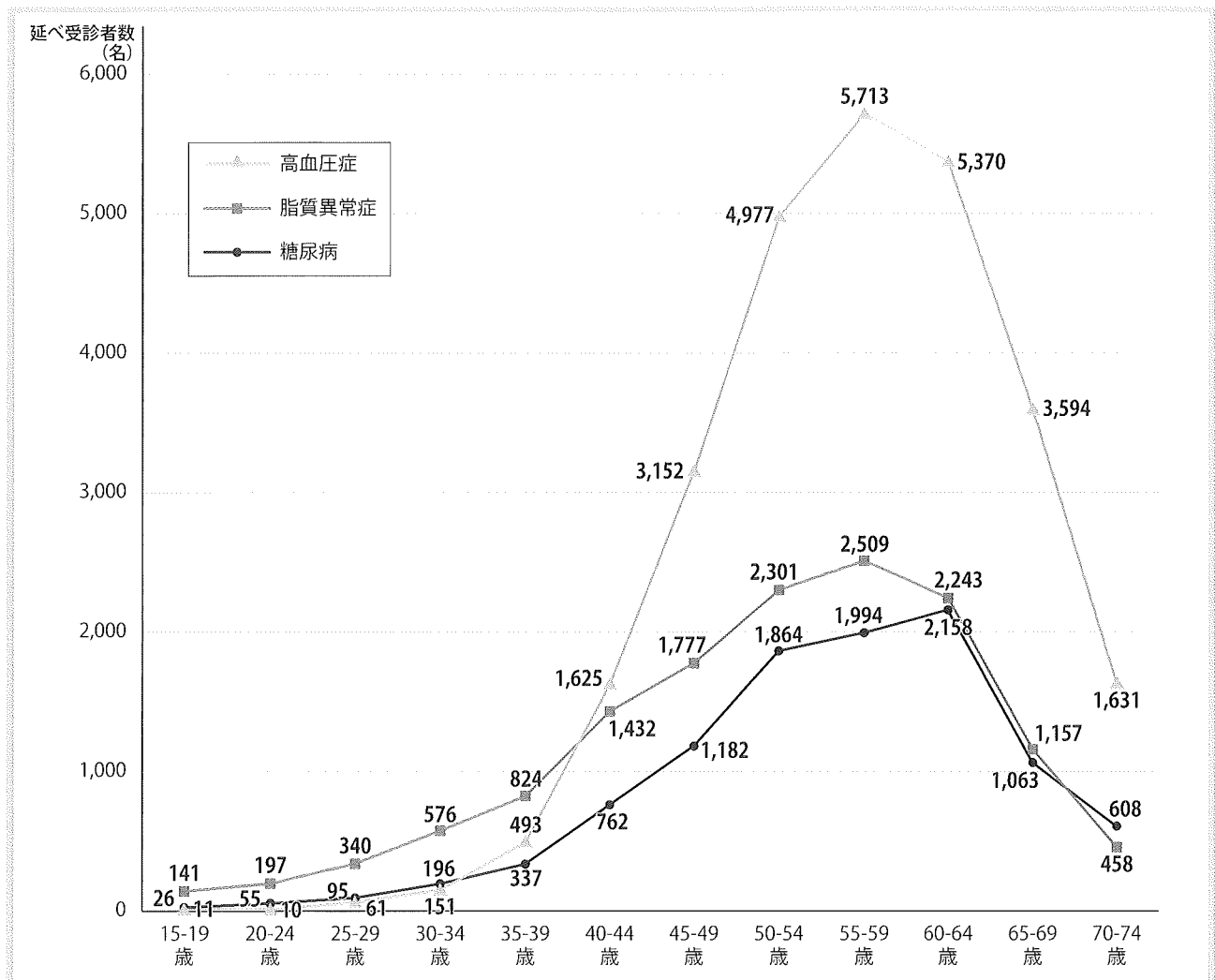
Pick Up



生活習慣病関連で
医療機関にかかった方を
ピックアップしました

35歳以上で急増する高血圧症・ 脂質異常症・糖尿病の受診者

生活習慣病関連疾病の年齢階層化別受診者数(15～74歳)



※脂質異常症には、痛風等の原因となる高尿酸血症が含まれます。

平成27年3月～28年2月までのレセプトデータから、生活習慣病関連疾病を年齢別に集計しました。昨年度と同様に、いずれの疾患も35～39歳の受診者から急増しており、特に高血圧症の受診者の増加が著しい傾向にあります。生活習慣に起因する高血圧症、脂質異常症、糖尿病は、自覚症状のないまま進行し、重症化すると脳梗塞や心筋梗塞などの重篤な合併症を引き起こす危険性が高くなりますので、受診されている方は主治医と相談しながら治療、経過観察を続けていきましょう。

当組合では、重症化予防対策の一環として、40歳以上の健診受検者のうち、血圧、血中脂質、血糖の3項目で受診が必要な未受診者の方を対象に勧奨文を送付しています。届きましたらかかりつけ医を受診し、生活習慣病の憂いを取除きましょう。